



PDA 岡山県岡山朝日高等学校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年1月6日(木) 13:00-15:00

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒8名

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ

はじめに、PDA スタッフよりルールの確認が行われました。ディベートの流れ、POI (Point of Information) の行い方、準備時間の使い方、論の組み立て方などについておさらいしました。POIの練習では、片手を頭に寄せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズを行うことができました。



POI の練習

実践(1)の様子

実践(1)の論題は「*High school students should have part-time jobs.* 高校生はアルバイトをすべきである。」でした。将来のことを見据えて学校では得られない社会経験を積むべきだと主張する肯定側に対し、勉強が疎かになったり、トラブルに巻き込まれたりする危険性を孕んでいるためアルバイトをしない方がいいと主張する否定側。理由を複数挙げるなど説得的なスピーチとなりました。

実践(2)の様子

休憩時間を挟み、実践(2)の始まりです。実践(2)の論題は「*t is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* 大学入試の受験生には

彼氏/彼女がいた方がいい。」でした。恋愛と勉強の両立は、将来的に家庭と仕事の両立をする上で重要な学びになるだけでなく、互いに支え合い、勉強のモチベーションが上がる
と主張する肯定側に対し、むしろ勉強が疎かになるのではないかと、もし別れてしまったら
どうするのかと否定側も説得的な主張で返しました。実践（1）でジャッジから受けたフ
ィードバックを元に、POIを行ったり、具体例を説明したりする様子も見られました。



POIで質疑応答



ジャッジによるフィードバック

最後に、実践（2）でベストディベータに選ばれた生徒が、「15分という短い時間で準備するのは大変だったが楽しかった。」と、本日の感想を述べました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 今日初めて話した人とペアを組んで最初は 心配だったけれど、協力しながらすることが楽しかった。
- ・ 即行型ディベートは初めてだったのですが、必死に文を考えて発表するのは日本語ディベート以上の達成感がありました。
- ・ チームで協力して、ディベートができて楽しかった。
- ・ 具体例の重要性や文章のつなぎなど毎回違ったことを学ぶことができ、次回のディベートに活かそうと思った。
- ・ 15 分間の中で意見を出して、短い時間の中で考えるのも難しかったのですが、発表をする時に自分が思っていた以上に英語を話せたこともあり、すごく楽しかったです。楽しかったです！また、このような形でディベートをできる機会があれば、参加したいです！まだ初心者でなかなか流暢に喋られないので、練習をして、少しでも話せるようになりたいと思いました！将来は海外で働きたいので、少しでも経験を積めて良かったです。
- ・ 15 分間で考えないといけなくて、反論の準備時間もない形式は初めてやったので、焦ってしまったりして難しかったが、だからこそやりがいを感じました。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん
_____ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん
_____ さん



PDA 大阪府立四條畷高等学校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年1月14日（金）15:30-17:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒8名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに、PDA スタッフよりルールの確認が行われました。ディベートの流れや4人チームの場合の役割分担、POI（Point of Information）の行い方、準備時間の使い方などについておさらいしました。POIの練習では、片手を頭に乘せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズを行うことができました。



POIの練習

実践（1）の様子

実践（1）の論題は「*High school students should have part-time jobs.* 高校生はアルバイトをすべきである。」でした。高校生にとって重要なことは社会経験か、勉強かという対立軸になり、理由や具体例を提示しながらディベートを行いました。



準備時間の様子



スピーチ中の様子

実践（２）の様子

休憩時間を挟み、実践（２）の始まりです。実践（２）の論題は「*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* 大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。」でした。恋人がいるからこそ受験勉強を頑張ることができるのか、むしろ勉強を阻害してしまうのかについて、実践（１）よりも反論や再構築、そしてPOIを効果的に行いながらディベートを行いました。



POIで質疑応答



アイコンタクトをしながらスピーチ



ディベート後のエアークラップ

最後に、実践（２）でベストディベーターに選ばれた生徒が、「15分という準備時間が短く、あっという間に感じた。」「思いつくことは難しいが楽しかった。」と、本日の感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- みんなで協力し、実際に戦うことができ、自分の役に立ったから。スピード感があり面白かった。英語も考えて、立論を考えることもして、たくさんやることがあったがやってみると達成感や充実感、ハラハラな雰囲気があり、またやってみたいと思った。
- あまり体験することができない貴重な経験で、楽しくて、これがまさに討論なんだな考えが改まりました。授業でも行いたいです！
- 即興型ディベートには、英語では取り組んだことがなかったのですが、英語を話すことはすごく好きなので、とても楽しむことができました。自分の主張を短時間でまとめ英訳し、発表することは難しく、緊張しましたが、英語を話すことが今まで以上に好きになりました。
- 私はすごく最初緊張していたのですが実際にやってみるとすごく楽しかったし、もっと英語を話せるようになりたいと思えました。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん



PDA 大阪府立高津高等学校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年1月15日（土）13:30-15:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒7名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに、PDA スタッフよりディベートの流れや各スピーカーの役割などルールの確認が行われました。そして、POI（Point of Information）の練習や、具体的にどのようなPOIをすれば良いのかについて説明が行われました。POIの練習では、片手を頭に乗せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズを行うことができました。



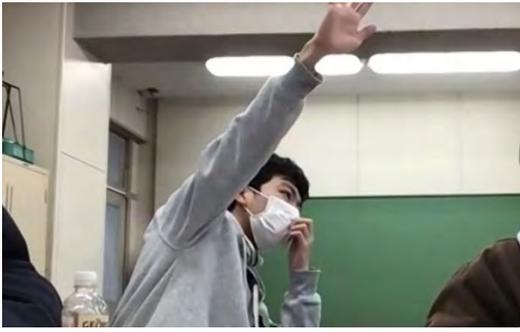
POIの練習

実践（1）の様子

実践（1）の論題は「*High school students should have part-time jobs.* 高校生はアルバイトをすべきである。」でした。肯定側がお金を稼ぐ必要性や社会経験の重要性を説明し、対する否定側は勉強に集中できなくなる、高校生のときにしかできないことに時間を使うべきだと主張しました。POIを行い、お互いに質疑応答を通して議論を深めました。



準備時間の様子



POIの様子



ディベート後のエアークラッシュ

実践（２）の様子

休憩時間を挟み、実践（２）の始まりです。実践（２）の論題は「*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* 大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。」でした。励ましあったり、勉強を教え合ったりするというのは恋人だからこそできることなのか、家族や友達でも良いのか、もしも別れてしまったらどうするのかなど、さまざまなシチュエーションを想定しながらディベートを展開してきました。



アイコンタクトをしながらスピーチ



POIで質疑応答

最後に、実践（２）でベストディベーターに選ばれた生徒が、「質疑応答をしたり、反論したりというのは普段しないのでとても刺激的だった。」「15分という準備時間で自分たちの意見だけでなく相手の意見も考えるのは大変だったが楽しかった。」と、本日の感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・普段触れることのないディベートということを即興で、英語で行うことが出来て楽しかったです。貴重な機会を頂けてとても楽しかったです、このような体験を普段から行くと英語力がとても上がりそうだなと思いました。
- ・自分の未熟さ、語彙の足りなさを感じると共にもっと英語をスムーズに話せるようになるとモチベーションを得ることが出来ました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。
- ・日本語ではなく英語でディベートすることによって伝えたいことを 1 度頭の中でまとめて言語化するという事が難しく考えるのが面白かった。POI のタイミング、また POI に対して即興で対応するのが難しかったけど回答を考えるのも楽しかった。
- ・質疑応答がある話し合いをするのは意外と機会がなく、質問を予想し、反論を考えるとこが新鮮だった。

ベストディベータに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん



文部科学省・外務省後援

第7回 PDA 高校生パーラメンタリーディベート

世界交流大会 2022 報告書

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：

2021年1月21日(金)、22日(土)

会場：

オンライン開催 (Zoom)

主催：	一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)
助成：	公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団
後援：	文部科学省、外務省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、 一般社団法人日本英語交流連盟、大阪府立大学

参加校とディベートチーム：15か国 24チーム (日本5チーム、海外19チーム)

日本	筑波大学附属駒場高等学校
日本	作新学院高等学校
日本	聖光学院高等学校
日本	鹿児島県立大島高等学校
日本	熊本第二高等学校
*オランダ	Wolfert van Borselen scholengroep / Rotterdam International Secondary School (branch of the school ARDOR - Romanian Association)
ルーマニア	ADROR – Romanian Association for Debate Oratory and Rhetoric
タイ	Prince of Songkla University Demonstration School (Secondary)
モロッコ	Moroccan National Debate Team
モロッコ	Morocco Debate Association
コロンビア	Corporación Educativa American School

トリニダード・トバゴ	The Oxbridge International School
インド	Summer Fields School
*フィリピン	Caraga Regional Science High School
フィリピン	Timber City Academy
ウクライナ	Radowell Biotechnological Lyceum
ブラジル	Colégio Harmonia
*中国	【Joint】 Whittle School (Shenzhen) SongGang Chinese English Experimental School
タジキスタン	Dushanbe Economics Lyceum for Gifted Students
ベトナム	TH School
ウガンダ	Maryhill High School (C/O NDC Uganda)
ウガンダ	Mengo Senior School (C/O NDC Uganda)
ウガンダ	Makerere College School Mulawa (C/O NDC Uganda)
*ウガンダ	Nabisunsa Girls School (C/O NDC Uganda)

※=当日参加できなかったチーム



大会趣旨

昨今、グローバル化の加速により、多様な文化や考え方を理解し、グローバル社会で貢献できる人財の育成が求められています。

本大会では、パーラメンタリーディベートを通して、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、コミュニケーション力など複数の力を発揮し、様々な国の人と同じ土俵で議論し、成長する機会を提供します。キーノートスピーチなど最新の講演も織り交ぜ、グローバルに活躍できる人財育成とすることを目的とします。ディベートという手法を通して効果的な国際交流を図るプログラムであります。また、スケジュールも国際会議、国際学会に似たものとし、高校生にとって、将来的にこのような世界の舞台に参加するイメージや各々の目標を持ってもらえれば幸甚です。なお、本大会では、文部科学省助成調査研究の結果を踏まえ、通常の授業でできる即興型英語ディベートのフォーマットを用います。そうすることにより、クラブの生徒に加え、一般の生徒も参加しやすい形態となっています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）

予選 1 : **Parents should have the right to access their children's SNS.**

親は子供の SNS にアクセスする権利を持つべきである。

予選 2 : **Homework should be abolished.**

宿題を廃止すべきである。

予選 3 : **The development of AI weapons for military purposes should be banned.**

軍事目的の AI 兵器の開発を禁止すべきである。

予選 4 : **Companies should not do business with countries where there are human rights violations.**

企業は、人権侵害がある国と取引をすべきでない。

準決勝 : **Developing countries should take the same responsibilities as developed countries on global warming.**

地球温暖化について、発展途上国は先進国と同じ責任を負うべきである。

決勝 : **Space travel by the wealthy should be criticized.**

富裕層の宇宙旅行は批判されるべきである。

キーノートスピーカー :

Maram KAIRE 氏

セネガル出身、AfricaSpace CEO、天文学者、システムエンジニア

セネガル最高勲章受章

AfricanDOers 世界に最も影響を与えるアフリカ人トップ 500 に選出

セネガル人初、名前が小惑星に割り当てられた (Maramkaire)



1日目（開会式、予選3ラウンド、文化交流、カルチャーナイト）

第7回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会が始まりました。開会式では PDA 代表理事の中川智皓から挨拶と各国のチーム紹介（海外 15 ヶ国から 24 チーム、日本からは 5 チーム）がありました。その後ルールの確認も行われました。



開会式後、早速予選が始まりました。ディベート中は、POI（Point of Information）が活発に交わされ、白熱した議論が繰り広げられました。ディベートが終わりジャッジの先生からのフィードバックに移ると、次のラウンドに活かそうと真剣にアドバイスを聞き、改善点を自ら質問する意欲的な姿が見られました。

論題は「Parents should have the right to access their children's SNS. 親は子供の SNS にアクセスする権利を持つべきである。」、「Homework should be abolished. 宿題を廃止すべきである。」、「The development of AI weapons for military purposes should be banned. 軍事的 AI 兵器の開発を禁止すべきである。」の 3 つでした。Zoom を使用して離れた国のチームとディベートをする経験は生徒たちにとって刺激となったようです。SNS・宿題・AI といった生徒たちにとって身近に感じられるトピックでありながらも、それぞれの話題に対して各チームが多様な視点から意見を述べ、さらなる知見をお互いに得ていました。

POI にも果敢に挑戦！





予選 1 ラウンド後に、休憩を兼ねた Zoom ブレイクアウトルームを用いた国際交流が行われました。フィリピンの生徒からウクライナの生徒に「ロシアとの現況はどうですか？」などと生の意見を尋ねる機会も見られました。オンライン開催で直接親交を深めることができない中でも、生徒たちは会話を弾ませ、異文化交流を楽しんでいました。

予選 2 ラウンド後のカルチャーナイト（世界の国々の文化紹介）では、各チームがさまざまな工夫を凝らしながら、伝統のダンスや歌、食の魅力や美しい景色、文化などを紹介し、お互いを知る機会となりました。中でも、ウクライナからの生歌披露は Zoom のチャット欄での賞賛が飛び交いました。民族衣装を身にまといながら発表をするチームも多く、鹿児島県の大島高校は、特産の大島紬でできた着物を着用し、コロンビアの生徒は美しい花飾りを頭につけ、タジキスタンの生徒は赤色の可愛いらしい民族衣装でプレゼンをしました。



大島



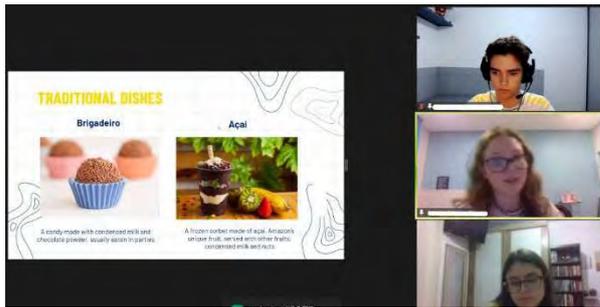
タジキスタン



コロンビア



ウガンダ



ブラジル



ウクライナ



タイ



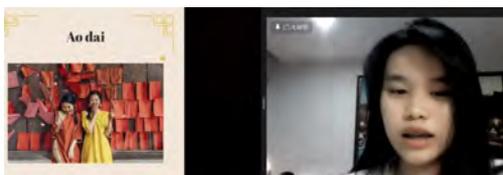
フィリピン



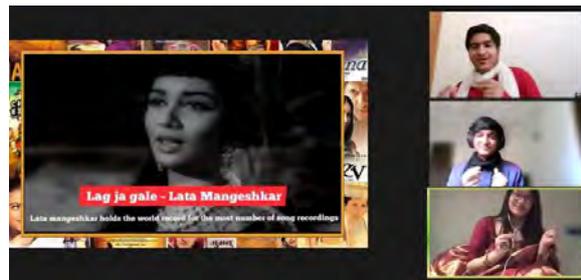
トリニダード・トバゴ



ルーマニア



ベトナム



インド



モロッコ



作新学院



熊本第二

2 日目（予選、準決勝、決勝、キーノートスピーチ、閉会式）

2 日目は予選ラウンド 4 から始まります。論題「Companies should not do business with countries where there are human rights violations. 企業は、人権侵害がある国と取引をすべきでない。」のもと、昨日の反省点を踏まえ、熱いディベートが繰り広げられました。



2 日目の予選終了後も、休憩を兼ねたレクリエーションが行われました。今回は生徒たちだけではなく、各学校の先生たちも参加し、予選ラウンドの出来具合やお互いの文化について意見交換をしました。

休憩をはさみ、緊張のブレイクアナウンスメント（予選の結果発表）が行われ（結果は下記）、準決勝が始まりました。準決勝の論題は、「Developing countries should take the same responsibilities as developed countries on global warming. 地球温暖化について、発展途上国は先進国と同じ責任を負うべきである。」でした。準決勝に進出できなかったチームも、メモを取りながら準決勝を見学し、試合後に意見交換をする様子も見られました。



教員集合写真

Breaking 4th

3 wins 166 pts

India

12:40~13:40

PDA

Debate Semi Final Rounds

Developing countries should take the same responsibilities as developed countries on global warming.



聖光 対 ベトナム

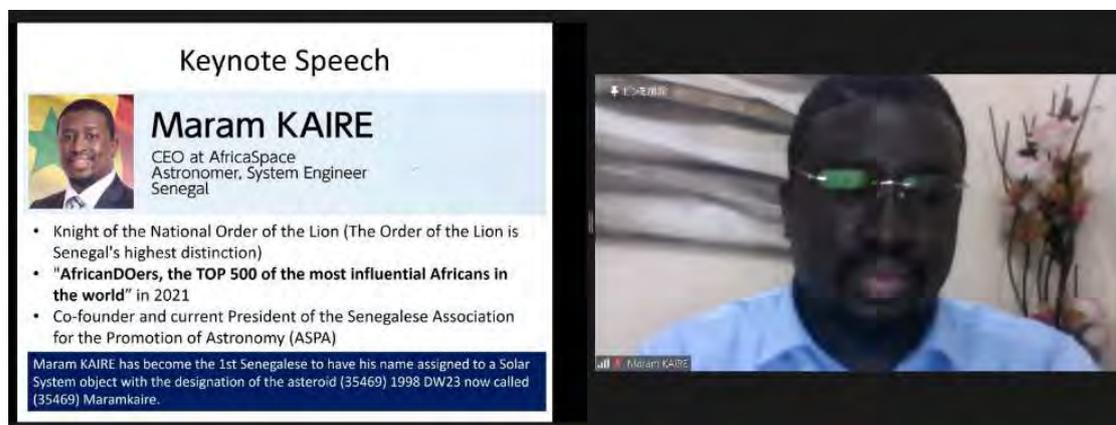


インド 対 モロッコ1

予選結果

順位	チーム名	勝利数	合計点
1st	聖光	4	172
2nd	Morocco 1	4	163
3rd	筑波大学附属駒場	3	176
4th	India	3	166
5th	Vietnam	3	157
6th	Trinidad and Tobago	3	156
7th	Philippines 2	2	172
8th	作新	2	162
9th	Romania	2	153
10th	Uganda 1	2	150
11th	Thailand	2	147
12th	大島	2	144
13th	Brazil	1	153
14th	Morocco 2	1	150
15th	熊本第二	1	144
16th	Colombia	1	140
17th	Ukraine	1	125
18th	Uganda 3	1	120
19th	Uganda 2	1	104
20th	Tajikistan	0	97

決勝の前に、キーノートスピーカーである Maram KAIRE 氏のご登壇があり、アフリカの発展において、宇宙技術がいかに重要かをお話しされ、衛星を使った、アフリカで行われているプロジェクトをご紹介頂きました。



Keynote Speech

Maram KAIRE
CEO at AfricaSpace
Astronomer, System Engineer
Senegal

- Knight of the National Order of the Lion (The Order of the Lion is Senegal's highest distinction)
- "AfricanDOers, the TOP 500 of the most influential Africans in the world" in 2021
- Co-founder and current President of the Senegalese Association for the Promotion of Astronomy (ASPA)

Maram KAIRE has become the 1st Senegalese to have his name assigned to a Solar System object with the designation of the asteroid (35469) 1998 DW23 now called (35469) Maramkaire.

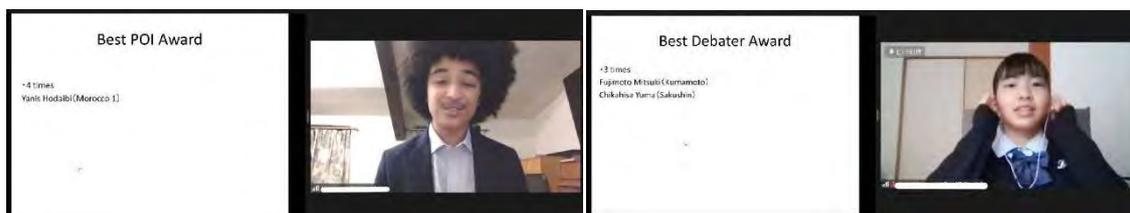


質問をする参加者

キーノートスピーチの後はいよいよ決勝(聖光 vs モロッコ 1)です。決勝の論題は「Space travel by the wealthy should be criticized. 富裕層の宇宙旅行は批判されるべきである。」でした。張り詰めた緊張感の中、全ての参加者が2日間一緒にディベートを行い、勝ち上がったチームのスピーチを真剣な眼差しで見つめていました。ジャッジの満票で優勝者はモロッコ 1 に決まりました。



閉会式では、表彰式とチーフジャッジの綾部先生より講評がありました。また、各賞受賞者から喜びのコメントを頂きました。最後に、PDA 代表理事中川から「来年もお会いできることを楽しみにしています。これからも頑張ってください。」とエールが送られました。



今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となりましたが、大盛況のうちに世界交流大会は幕を閉じました。大会に参加された世界の高校生、引率の先生、キーノートスピーカーの皆様、この世界交流大会を助成、後援、応援くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

第7回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会〔結果〕

チーム賞

優勝：モロッコ1

準優勝：聖光学院高等学校

準決勝出場チーム：インド、ベトナム

個人賞

ベストディベーター賞

・ 3 times

■■■■■ (Kumamoto)

■■■■■ (Sakushin)

■■■■■ (Komaba)

■■■■■ (Vietnam)

■■■■■ (India)

■■■■■ (Morocco 1)

・ 2 times

■■■■■ (Philippines 2)

■■■■■ (Seiko)

■■■■■ (Seiko)

■■■■■ (Uganda 1)

■■■■■ (Trinidad and Tobago)

■■■■■ (Colombia)

■■■■■ (Morocco 2)

■■■■■ (Thailand)

■■■■■ (Romania)

POI 賞

・ 4 times

■■■■■ (Morocco 1)

• 3 times

■■■■■ (Philippines 2)

■■■■■ (Oshima)

• 2 times

■■■■■■■■■■ (Philippines 2)

■■■■■■■■ (Sakushin)

■■■■■■■■■■■■■■ (Uganda 3)

■■■■■■■■■■ (Vietnam)

■■■■■■■■■ (India)

■■■■■■■■■ (Colombia)

■■■■■■■■■■■■ (Morocco 2)

■■■■■■■■■■■■■■ (Romania)

■■■■■■■■■■ (Romania)

文化賞

作新学院高等学校

フィリピン

ウクライナ

ウガンダ

第7回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会〔感想〕

世界交流大会の感想（抜粋）

（生徒）

- 海外の学生と意見交換をするのは初めての経験でした。だから、彼らとディベートを通してコミュニケーションが取れたことがとても嬉しく、興奮しました。各国の学生の文化や意見など、さまざまなことを理解することができました。とても貴重な体験でした。（日本）
- 外国の高校生と交流し、情報交換ができて楽しかったです。カルチャーナイトでの発表で、他の国のことを知ることができてとても面白かったです！（日本）
- 世界中の同世代の人たちとディベートをすることができ、普段は違う言葉を話す人たちと共通理解を作ることができた。とても新鮮な体験だった。たくさんの方の人とより良い将来について議論し将来を背負う世代としての自覚を持つことができた。（日本）
- ラウンド後の個人コメントでは、自分の良いところやアドバイスを聞くことができ、とても勉強になりました。（日本）
- 競争力のある人たちとディベートをするのはとても楽しかったです。とてもいい経験で、多くのことを学べた気がします（ルーマニア）
- スピーチ中の自分が話している間、みんなから尊敬されていると感じたから。（タイ）
- 他の国の人たちと話ができるブレイクアウトルーム（交流会）が大好きです。とても楽しくて、みんないい人たちばかりでした。（タイ）
- トピックはとても興味深く、ブレイクアウトルーム（交流会）では他の国について学ぶことができました。（コロンビア）
- 私にとって最も楽しかったのは、さまざまな国の人たちと交流できたことで、これは今までにない機会でした。PDAWC は私にこのような機会を与えてくれ、ディベートを好きになることができたので、とても感謝しています。他のディベーターたちとの交流は、魅力的で、有意義な議論に興味を持つことができました。（トリニダード・トバゴ）
- とても楽しく、他の国のことを知り、交流することができただけでなく、素晴らしいディベートの経験や素晴らしいジャッジの方々を知ることができました。ラウンドごとに異なる役割や立場を演じたり、他の国と交流したり、ジャッジの意見を聞いたりすることができたので、本当によかったと思います。（トリニダード・トバゴ）
- さまざまな国籍の人と知り合うことができ、ディベートのレベルやジャッジのプロ意識に感銘を受けた（インド）。
- ディベートはよく練られており、ジャッジも公正で、何よりジャッジが個別に発言してくれたのがよかった。（インド）

- このイベントに参加したさまざまな国から来た人たちとの交流は、とても楽しかったです。また、スタッフの方々もとても親切で、楽しませてくれました。私が PDAWC に参加して一番楽しかったのは、あるトピックについて、異なる国籍の人たちが、その平和を壊すことなく、矛盾した意見を出し合うのを見ることができたことです。(フィリピン)
- 見学としての参加でしたが、私の考え方が、肯定側、否定側の両方から届けられるかもしれないことがよかったです。自分が思っていることを、自分が言っていなくても他の人が言ってくれるのは、いつも楽しいものです。(フィリピン)
- 私はこの大会のすべてが好きです。ジャッジの方々は、愛をもってすべてを明確に説明してくれました。他の学校の生徒と話し、他の国の文化について知ることができたのも興味深かったです。一番気に入ったのは、ディベートのルールと、それが今日どのように使われているかということです。今大会で一番盛り上がったのは、最終日の第4ラウンドで、とても難しいテーマになるのではと心配しました。(ウクライナ)
- たくさんの人に出会えるし、新しい文化やディベートスタイルに出会えるのが楽しいと思います。(ベトナム)
- 世界各国から来た新しい人たちと出会い、学び、異文化を知る、とても楽しい経験でした。(ウガンダ)

(教員)

- ディベートのラウンドとキーノートスピーチは素晴らしかったです。いつものように、PDA は雰囲気をもよく保ち、物事を整理して時間通りに進めるという素晴らしい仕事をしています。(日本)
- いろいろな国のディベーターを見ることができ、楽しかったです。(日本)
- いろいろな国の学生のディベートを聴くことができるのは、とてもいい機会でした。(日本)
- 私の生徒が他の国の生徒と交流し、自分たちの文化を発表し、他の国の文化も学ぶ機会があるのを見たことがよかったです。(タイ)
- ディベートを通じた意見交換のほか、ディベート以外の交流は、私や生徒が世界中のさまざまな背景を持つ人々の話を聞く機会を与えてくれるので、有意義なものだと思います。(フィリピン)

(キーノートスピーチ)

- 宇宙技術の開発がなぜアフリカで重要なのか知りませんでした。衛星が彼らの産業と発展に役立っていることを知りました。この講演は興味深く、有意義なものでした。(日本)

- 宇宙科学がいかに重要で有用であるかということがよく分かった。日本の機関がアフリカの宇宙開発を支援していることを知り、嬉しく思います。(日本)
- 宇宙物理学者を目指している私にとって、キーノートスピーチはとても有益で興味深いと思いました。宇宙開発が次の大きな革命であるという見解には、本当に感心させられました。(トリニダード・トバゴ)
- とても素敵で楽しかったですし、同時に多くのことを学びました。(フィリピン)





PDA 広島市立基町高等学校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年1月29日（土）09:00-11:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒14名

ジャッジ：PDA スタッフ、東京外国語大学

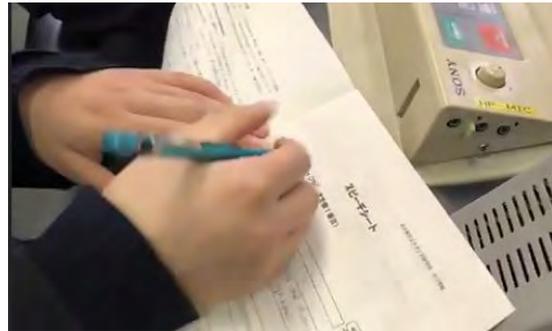
はじめに、PDA スタッフより、ルールの確認と POI の練習が行われました。POI は Point of Information の略称で、相手チームのスピーチ中に質疑応答を要求することができるルールです。POI を行うことで相互理解がより深まります。POI の練習ではしっかりポーズをきめ、POI ! と言うことができました。



POI の練習

実践（1）の様子

実践（1）の論題は「*High school students should have part-time jobs.* 高校生はアルバイトをすべきである。」でした。社会経験を積むことと、勉強に集中することのどちらが重要かというディベートになりました。ときには POI が見られるテーブルもあり、活発に意見を交わしました。



準備時間の様子

実践（２）の様子

休憩時間を挟み、実践（２）の始まりです。実践（２）の論題は「*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* 大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。」でした。恋人がいた方が支え合うことができ、勉強のモチベーションが上がるという肯定チームに対し、否定側は別れた場合のリスクや友達でもいいのではないかという主張で応戦しました。実践（１）でジャッジから受けたフィードバックをうまく活用する場面も見られました。



POIで質疑応答



アイコンタクトをしながらスピーチ



ジャッジからのフィードバック

最後に、実践（２）でベストディベータに選ばれた生徒が、「即座に考えるというのが難しかったが楽しかった。」「またやりたい。」「日本語でするときと比べると難しいと感じるがためになっていると思う。」と、本日の感想を述べました。



本日の感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- 普段ディベートなんてした事が無く、相手の意見を聞いて反論するところに楽しみを感じた。日本語では反論出来ると思うものでも英語だと出来なかつたりしてそこに難しさを感じた。
- 初めての体験で難しさとともに面白さを感じた。
- 初めは、興味本位で申し込んだ即興型英語ディベートでしたが、臨機応変に考える力や、自分の主張にいかにか説得力を持たせるか、と言った大切なことを学べたので、とても良い経験になりました。私は、海外の大学に進学したいと思っているので、海を渡った際は今回の経験を活かしたいです。
- 英語に限らず母語以外の言語を使用するときはどうしても思考力が鈍るということを改めて思い知らされた。特に表現が出てこない時が大変で、話すためには日常で使えるフレーズをちゃんと覚えておくのが大事だなと改めて思った。英作文の練習と並行で進められたらと思う。
- 語彙力もなく、英語を話すことも慣れていなくて、あまりの不出来さに落ち込みましたが、これを繰り返せば、確かに力がつきそうだなと思いました。英語で考えるということにも慣れていかなければならないと感じました。英語を話すことは、まだ間違いが怖いけれど、チャレンジして行きたいです。



PDA 大阪府立大手前高等学校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年1月29日（土）13:30-15:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒5名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに、PDA スタッフよりルールの確認と POI (Point of Information) の練習が行われました。パラメンタリーディベートは議会を模したディベートであり、その歴史的背景に沿った片手を頭に寄せ、もう片方の手を伸ばすポーズをすることができました。



POI の練習

実践（１）の様子

実践（１）の論題は「*High school students should have part-time jobs.* 高校生はアルバイトをすべきである。」でした。肯定側は、社会経験が身につく、将来会社で働くときに役立つ、自由に使うことができるお金を得ることができるという点、否定側は、勉強が疎かになってしまう、高校生活ならではあることに時間を割くべきであるという点を提示し、反論や再構築をしながら意見を交わしました。しっかり相手のスピーチを聞き、要点を掴んだ上で反論などをする様子が見られました。

実践（２）の様子

休憩時間を挟み、実践（２）の始まりです。実践（２）の論題は「*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* 大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。」でした。肯定側はお互い励まし合い、一緒に勉強することができる、ストレスを軽減することができるという点、否定側は喧嘩などをする事で時間を無駄にしてしまう、勉強がむしろできなくなってしまうという点を立論しました。実践（１）よりもさらに具体例を提示する場面が見られ、より説得的なスピーチを披露しました。



ポーズをきめて POI !



POI で質問を受けて返答します



ディベート後のエアークラップ

最後に、実践（２）でベストディベーターに選ばれた生徒が、「1 回目の実践で学んだことがすぐ 2 回目の実践で活かした。回数を重ねれば英語を話すことができるようになって実感した。」「英語力だけでなく、論点をつかむ力が身に付くのだと実感した。」と、本日の感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・個人に向けても一つ一つアドバイスしてくださったので自分の改善点が分かりよかったです。貴重な体験をありがとうございました。
- ・日本語で考えるのも難しいのに英語で話すのは困難極まりなかったです笑でも自分の拙い英語で意見が伝わったときすごく嬉しかった。もっと言いたいことがあるのに自分の英語力じゃ全然伝えられなくてとても歯痒かったです。もっと勉強してボキャブラリーを増やして臨んでみたいです。ほんとにいい経験をする事ができました。
- ・論理的思考や英語を使うことが普段の生活であまり出来ないことなので普段と違う頭の使い方が出来た。
- ・英語を話す能力だけでなく、相手の話を聞く能力も必要でとても難しかった。けれど、拙い英語でもみんなが聴いてくれたのが嬉しかった。終わった後のアドバイスがとてもわかりやすく、次に活かそうと思った。
- ・英語でディベートを行うのは初めてで、中々言葉が出てこなかったけれど、なんとかして自分達の意見を伝えようとするのが楽しかったです。今後の課題や伸び代も多くあり、また機会があればやってみたいと思いました。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん
_____ さん
_____ さん
_____ さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

_____ さん

PDA 大阪府文理高等学校 即興型英語ディベート交流大会 2021

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年2月6日(日) 09:00-15:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：北野高校、豊中高校、岸和田高校、天王寺高校、高津高校、生野高校、四條畷高校

参加者：生徒 32名、教員 8名

スタッフ：PDA スタッフ、東京外国語大学、京都大学、九州大学



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「これまで他校と交流するという機会はなかなかなかったと思いますので、今日はディベートを通じた交流を楽しんでください。」とエールが送られました。次に、豊中高校の平野裕一校長先生より、英語で激励の言葉が送られました。平野校長先生は「自身は英語の教員ではないが、英語を話す力はとても重要だということを過去シンガポールで参加したシンポジウムで感じた。“Don't be shy!” 今日がんばってください。」と自身の経験を交えながら英語でメッセージをいただきました。そして、大手前高校出身である KDDI 株式会社の田中孝司会長より、ビデオメッセージをいただきました。メールなどがなかった時代から無料でメールを送ることができるようになった背景やインターネットを取り巻く社会の情勢についてもお話いただきました。次に、参加校の紹介やジャッジの紹介、POI(Point of Information)の練習が行われました。

ご挨拶

豊中高校
校長
平野裕一先生



豊中高校 平野校長先生よりご挨拶



KDDI 田中会長よりビデオメッセージ

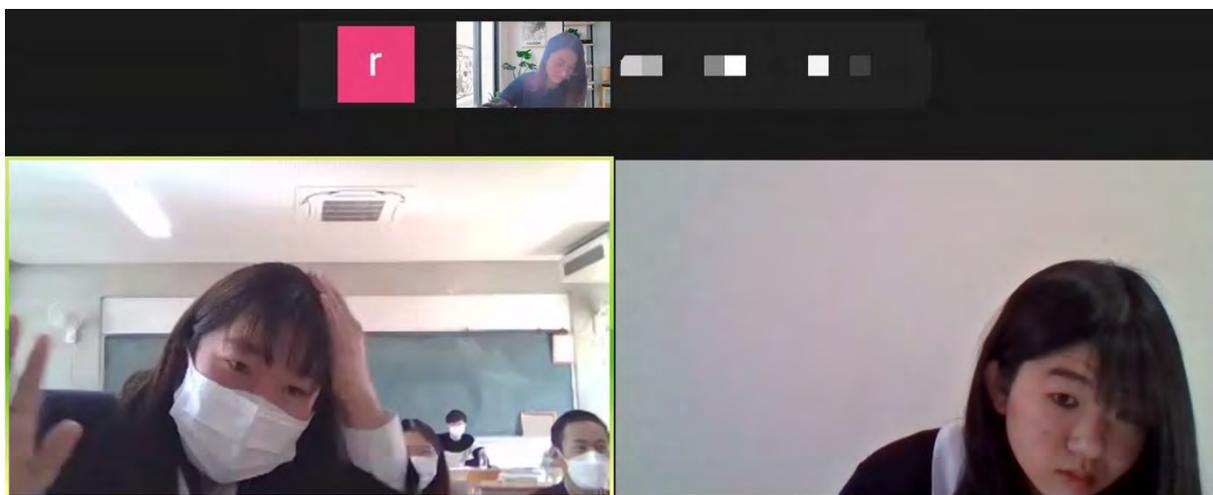


PDA 代表理事 中川智皓より参加校の紹介



POI の練習

開会式の後には、体験ラウンドです。論題は「*Homework should be abolished. (宿題廃止すべきである。)*」でした。肯定側は、睡眠不足になってしまう、他のやりたいことをする時間がない、むしろ勉強が嫌いになるなどの観点について、否定側は、少しでも勉強する時間を与えて習慣化すべき、暗記科目など反復が必要なものは特に宿題が重要であるなどの観点について説明しました。ディベート後、ジャッジがコメントするまでの間にお互いに自己紹介をしたり、部活動の話をしたり、交流する様子も見られました。



POI！（北野高校 VS 岸和田高校）



POI！（生野高校 VS 高津高校）

エア一握手（四條畷高校 VS 天王寺高校）



ディベート後の交流（生野高校 VS 高津高校）

体験ラウンドでルールを復習し、緊張もほぐれました。体験ラウンドの次は早速第1ラウンドです。論題は「*Japan should accept more foreign nurses.*（日本はもっと外国人看護師の受け入れるべきだ。）」でした。肯定側の提示した日本の抱える看護師不足という課題に対し、他の方法で解決できるのか、コミュニケーションはスムーズに行えるのかなどについて議論しました。



四條畷高校 VS 生野高校



POI！（北野高校 VS 天王寺高校）

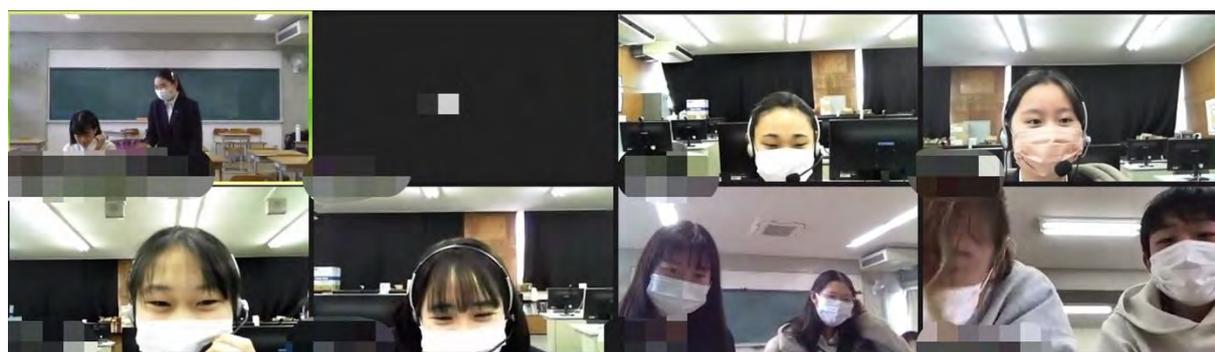


ディベート後の交流（豊中高校 VS 岸和田高校）

第2ラウンドに移る前に昼食交流会です。Zoomのブレイクアウトルームを利用し、2グループに分かれ、交流しながら昼食をとります。交流会では、普段の英語の勉強について、数学Ⅱが難しいという話、宿題は多いか少ないか、入っている部活動などについて話し、交流を深めました。お互いの高校に友達がいる場合は、「〇〇さんって知ってる?」「同じクラスだよ!」と特に盛り上がりを見せました。



昼食交流会（北野高校・天王寺高校・高津高校）



昼食交流会（北野高校・豊中高校・高津高校）



昼食交流会（北野高校・豊中高校・岸和田高校・四條畷高校）

続く第2ラウンドのお題は、「*Space travel by the rich should be criticized. (富裕層の宇宙旅行は批判されるべきだ。)*」でした。肯定側は、富裕層はもっと貧困層の救済にお金を使うべきだ、環境に悪いという点、否定側は個人のお金の使い方は自由であるという点や、むしろ宇宙開発が進んで良いのではないかという点を説明し、白熱した議論となりました。時にはタイムリーな具体例なども提示しながら、自身の主張の説得を強める描写をする場面も見られました。

ディベート後は、どちらのアイデアをより思いついたか、反論でどのようなことが言えるのかなど、論題についてより理解を深めるためにディスカッションするテーブルも見られました。



エアー握手（生野高校 VS Swing(北野高校)）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*The Internet brings about social division. (インターネットは社会の分断をもたらす。)*」でした。開会式でKDDIの田中会長よりお話のあった、インターネットが社会にもたらす影響という点にも触れながら、匿名性などが問題になるのではないかと、むしろ人と人をつなげる力を持っているのではないかと議論しました。勝敗はエキシビジョンディベートを聞いていた生徒による挙手で決まり、Government（肯定側）の勝ちとなりました。



エキシビジョンディベート

閉会式では、エキシビジョンディベータ賞、チーム賞、個人賞の表彰を行いました。

2回ベスト POI 賞に選ばれた天王寺高校の生徒は「初めはとても緊張していたがとても楽しくディベートできた。エキシビジョンで POI ができなかったのは残念だったが、このディベートは英語力向上につながると実感したのでこれからも頑張りたい。」と感想を述べました。

PDA 代表理事中川 智皓より「私も大阪の同じ地区の高校に通っていました。当時は英語を話すという授業はなく、あっても音読程度でした。初めから英語が話せたわけではありません。しかし、この即興型英語ディベートを通して海外の人と研究をする際にも活きる英語力を身につけることができました。やればやるほど話せるようになります。POI も自分の意見を伝える場では重要な力に直結します。これからもがんばってください。」と講評がありました。

最後に、生野高校の浅田充彦校長先生と豊中高校の平野校長先生より、「これから世界に羽ばたく皆さんの頑張りを見ることができた。これからも研鑽がんばってください。」「初めは緊張していたのですが、楽しくディベートしていたように思います。これからもがんばってください。」と労いのお言葉をいただき、交流大会の幕を閉じました。



生野高校 浅田校長先生による閉会のご挨拶



豊中高校 平野校長先生による閉会のご挨拶

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM 豊中高校 —
- ・ LO 北野高校 —
- ・ MG 四條畷高校 —
- ・ MO 北野高校 —
- ・ LOR 豊中高校 —
- ・ PMR 天王寺高校 —



〈チーム賞〉

- ・ 1位 北野高校
- ・ 2位 四條畷高校
- ・ 3位 豊中高校
- ・ 4位 天王寺高校
- ・ 5位 生野高校

〈ベストディベータ賞〉

- ・ — (北野高校)
- ・ — (北野高校)
- ・ — (四條畷高校)
- ・ — (生野高校)
- ・ — (天王寺高校)
- ・ — (天王寺高校)
- ・ — (岸和田高校)
- ・ — (豊中高校)
- ・ — (豊中高校)



〈POI賞〉

- ・ — (天王寺高校)



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・スピード感のある試合ができて楽しかったです。海外のメディアに対する情報リテラシーもつけていきたいです。そのために、英語ディベート等を通して英語力や論理力、思考力を鍛えたいです。（北野高校）
- ・いろいろな面で、文理十校で交流できて楽しかったです。今日来れなかった学校とも交流してみたいと思いました。KDDIの田中さんのビデオメッセージとても興味深かったです。これからの励みになりました。（北野高校）
- ・他校と交流できる機会はあまりないので、とても楽しかったです。（北野高校）
- ・最後の論題は難しかったです、インターネットについて様々な問題がある中で、多角的に考えて仲間と共有するのは楽しかったです。（豊中高校）
- ・他校の方とたくさん交流でき、様々な方面からのテーマについてディベートできた。（豊中高校）
- ・他校の生徒と交流して、たくさんのお話を吸収できました。皆さんの強い意見をきいて、自分自身もすごく鼓舞されました！（岸和田高校）
- ・最初の校長先生のスピーチとても良かったです！（天王寺高校）
- ・最初の講演は含蓄溢れるもので、とても参考になった（また、最後のディベートはそれがテーマになっていたの聞いていて良かったと思った）。また、内容としてはあまりPOIとかが出来なかったのが問題点であると感じたが、それ以上に何よりおもしろかった。いろいろな新しいことを知ることが出来たのも良かったと思った。（天王寺高校）
- ・初めての体験でとても緊張したのですが、ディベートごとに、またディベーター一人一人がスピーチするごとに、そんな視点もあるのかあとか、表現上手いなあとか、発見が沢山あってとても有意義でした。また、PDAの方にフィードバックして頂いて自分の良かった点と改善点が明確になるのがありがたかったです。また、ディベート以外の交流時間でも他校の人と楽しく会話できてとても良かったです。インターネットによる社会の分断については、会長さんがおっしゃっていたように、折り合いをつけることが重要だと思うので、今日のようなディベートから発展させて両意見を取り入れた打開策を見出す議論もしてみたいと思いました。（天王寺高校）
- ・楽しかったです。レベルの高い環境で英語ディベートができて良い経験になりました！（高津高校）
- ・自分で考えて話すのが初体験でだったし、他校の生徒と話すのが楽しかった。同世代の英語のレベルを知れてとても刺激的な体験になった。（高津高校）
- ・くそ悔しい。次の機会があればボコボコにできるくらい英語喋った。（生野高校）
- ・具体例など、色々な考え方が知れてよかったです。いい経験になりました。（生野高校）
- ・初めてのことを初対面の方達とするのはとても勇気が必要で、緊張しましたが、本当に貴重な経験でした。ありがとうございました！！（四條畷高校）
- ・生徒の踏ん張っている姿を見て、頼もしく思いました。（教員）



PDA 東京都公立中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会 2022

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年2月12日(土) 13:30-17:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：9校 (富士、武蔵、大泉、三鷹、小石川、白鷗、南多摩、両国、桜修館)、18チーム

参加者：生徒62名、教員13名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、岩手医科大学、九州大学



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「ディベートを通してお互いに切磋琢磨してください。」とエールが送られました。次に、東京都立富士附属中学校の岩間副校長先生より「ディベートを通じた交流を楽しんでください。」とご挨拶いただきました。その後、参加校の紹介やジャッジの紹介、POI(Point of Information)に関する確認と練習が行われました。



岩間副校長先生によるご挨拶



POIの練習

第1ラウンドのお題は「*In Japan, junior high school students should have part-time jobs.* (日本において、中学生はアルバイトをすべきである。)」でした。中学生のうちからお金の重要性を学ぶべきだという意見や勉強に集中すべきという意見など、様々な観点から議論しました。POI (ディベート中の質疑応答) も活発に行われ、お互いの意見をより深めようとする姿勢が見られました。



POI ! (桜修館 VS 三鷹)



小石川 VS 南多摩



大泉 VS 武蔵



白鷗 VS 大泉



POI！（武蔵 VS 両国）



POI！（白鷗 VS 両国）



ディベート後のエアークラッシュ（武蔵 VS 両国）



ディベート後の交流（両国 VS 武蔵）



教員ジャッジによるフィードバック

続く第2ラウンドのお題は、「**Term-exam should be abolished.** (定期テストは廃止するべきである。)」でした。肯定側は、テスト勉強をしなければならぬため自分のやりたい勉強ができない、教員の負担が大きいなどのポイントを提示し、否定側は、定着につながる、生徒の理解度を把握するためにも重要などのポイントを提示しました。

ディベートが終わると、お互いの健闘をたたえて画面越しにエアー握手を行います。ジャッジによるコメントが行われるまでの間、お互いの学校の様子や英語の勉強方法などについて情報交換を行い、楽しく交流しました。



交流の様子（富士 VS 桜修館）



交流の様子（小石川 VS 富士）

エアー握手（南多摩 VS 白鷗）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「**Junior high school should divide classes based on grades.** (中学校は成績順でクラス分けをすべきだ。)」でした。多くの見学者が画面越しにスピーチに耳を傾ける中、エキシビジョンディベーターに選ばれた生徒は堂々とスピーチし、時には POI で質疑応答をしながら議論しました。甲乙つけ難いラウンドでしたが、見学していた生徒らの投票により、僅かの差で Government (肯定側) の勝ちとなりました。



エキシビジョンディベート

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・PM 南多摩 B _____さん
- ・LO 三鷹 B _____さん
- ・MG 武蔵 B _____さん
- ・MO 南多摩 A _____さん
- ・LOR 桜修館 A _____さん
- ・PMR 小石川 A _____さん



エキシビジョンディベート中の様子

〈チーム賞〉

- 1位 三鷹A
- 2位 武蔵A
- 3位 武蔵B
- 4位 白鷗附属B
- 5位 富士B
- 6位 南多摩B
- 7位 小石川中等A
- 8位 白鷗附属A
- 9位 桜修館B

〈ベストディベータ賞〉 ※★は2回選出

- _____さん (南多摩A) ★
- _____さん (小石川中等A) ★
- _____さん (三鷹A) ★
- _____さん (武蔵A) ★
- _____さん (桜修館B)
- _____さん (桜修館A)
- _____さん (南多摩B)
- _____さん (白鷗附属B)
- _____さん (白鷗附属A)
- _____さん (小石川中等B)
- _____さん (三鷹B)
- _____さん (三鷹B)
- _____さん (大泉附属中A)
- _____さん (武蔵B)
- _____さん (武蔵B)
- _____さん (武蔵A)
- _____さん (富士A)



ベストディベータに2回選ばれた生徒

〈POI 賞〉 ※★は2回選出

- _____さん (桜修館 B) ★
- _____さん (桜修館 A) ★
- _____さん (武蔵 A) ★
- _____さん (桜修館 A)
- _____さん (両国 B)
- _____さん (両国 A)
- _____さん (南多摩 A)
- _____さん (白鷗附属 B)
- _____さん (白鷗附属 A)
- _____さん (小石川中等 B)
- _____さん (小石川中等 A)
- _____さん (三鷹 B)
- _____さん (三鷹 A)
- _____さん (大泉附属中 B)
- _____さん (大泉附属中 A)
- _____さん (武蔵 B)



ベスト POI に 2 回選ばれた生徒

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・POI をすらすら出したり受けたりしている人がいてすごかった。（三鷹）
- ・他校とこのような真剣勝負のディベートをすることができ、非常に楽しかった。（三鷹）
- ・最初は怖いな…とと思っていましたが、ラウンドを重ねる毎に自信がついてきました。ベストディベーター賞にも選んでもらえて、とても嬉しいです。（三鷹）
- ・英語でディベートができ、速攻で英語を喋るのが難しかったが、思ったことを伝えられた。英語で話すことはあまり日常的にないので、自分と同年の人と話せたのは新鮮だった。（南多摩）
- ・とても楽しい会でした！ぜひ授業などでも英語でディベートしたいです。（南多摩）
- ・英語での言い方だけでなく、ディベートとしての評価やどうすればより強い意見となるのかを聞くことができよかったです。今後にかかしたいと思います。（桜修館）
- ・英語で考えたことを自分の言葉で伝えるというのは大変だったけど、終わったときの達成感があってよかったです。（桜就館）
- ・本当に楽しかったし、賞もとれてうれしかった。その限りです。本当にありがとうございました！！（武蔵）
- ・エキシビジョンディベーターの方たちのディベートがすごかった。良かった点を真似して、自分たちのディベートに生かしていきたい。（両国）
- ・今まで練習してきたことを発揮できたのでとても嬉しかった。ディベートを始めた頃は主張も英語の文法力も全く足りなかったが、練習していく中でどんどん上達し、当日は深い議論を交わすことが出来て本当に楽しかった。（三鷹）
- ・このような場を提供してくださり、本当に感謝しています。今回のことをきっかけに、ディベートに興味をもつことができました。ありがとうございました。（武蔵）
- ・論理的に意見をつなげるのは難しかったが、同時に自分のチーム内で作戦を立てたり、他校と競ったりすることができてとても楽しかった。（武蔵）
- ・今回、英語が大好きなので参加させていただきました。周りの人たちのレベルが高く、この練習期間たくさん支えてもらいました。まずは、チームのみんなに感謝したいです。また、私は普段感じたことを即興で話すということが苦手だったため、たくさんの不安な思いがありました。この機会を通して、話すことに対する壁が少し抜けた気がします！また、英語がさらに好きになりました！今回このような状況下で開催してくださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。（武蔵）
- ・楽しかったです。（白鷗）
- ・難しかったけれど勉強になりました。（大泉）
- ・普段他校の生徒とディベートをする機会はないので、この機会にディベートができてとても楽しかったです。今まで英語力に自信がもてなかったけれど、即興型ディベートの練習を通して少し自信がもてるようになって、本当に良い経験ができたと思います。（小石川）
- ・生徒のための最高の経験になりました！また中高一貫校でディベートをやる機会があればと思います！（教員）
- ・コロナ禍で他校との交流がなかなかとれない中、生徒も楽しく参加できたようでした。（教員）
- ・初ジャッジでした。難しかったですが、勉強になりました。今後も授業で扱いたいし、大会にも出たいし、教員研修にも出たいと思いました。ディベートが英語の授業で推奨される理由がよくわかった。（教員）



令和3年度 PDA熊本高校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年2月19日(土) 09:15-15:30

会場：オンライン (Zoom)

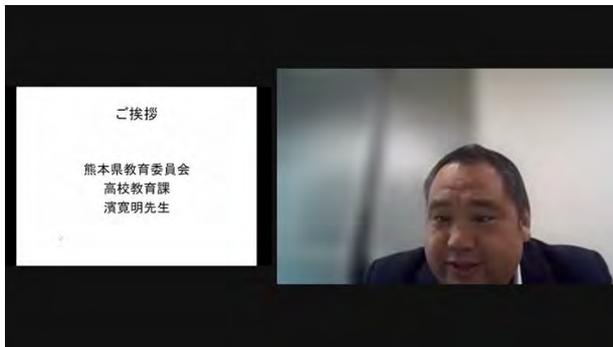
参加校：13校、30チーム(熊本県立熊本高等学校、熊本県立熊本第一高等学校、熊本県立熊本第二高等学校、熊本県立熊本西高等学校、熊本県立熊本北高等学校、熊本県立鹿本高等学校、熊本県立宇土高等学校、熊本県立八代高等学校、熊本県立水俣高等学校、熊本県立熊本商業高等学校、熊本県立済々黉高等学校、熊本県立天草工業高等学校、熊本県立東稜高等学校)

参加者：生徒137名、教員30名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ



開会式では、熊本県教育委員会高校教育課の濱寛明先生より、英語で「13校30チームの参加と昨年よりも参加数が増えたことを嬉しく思います。頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。次に、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)代表理事中川智皓より、「オンラインでの開催ではありますが、他校の生徒との交流を楽しみながら頑張ってください。」とエールが送られました。そして、参加校の紹介やジャッジの紹介、POI(Point of Information)に関する確認と練習が行われました。



高校教育課 濱先生ご挨拶



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶



POI の練習

まずは練習ラウンドです。論題は「**High school students should have part-time jobs. (高校生はアルバイトをすべきである。)**」でした。本日最初のラウンドに緊張しながらも、堂々とスピーチしたり、POIを通した質疑応答にチャレンジしたりする様子が見られました。ディベート後は、お互いに何年生かたずねたり、ディベート中の定義やPOIの内容についてディスカッションするテーブルもありました。



POI！（八代高校）



POI！（天草工業高校 VS 鹿本高校）

第1ラウンドのお題は「**High school should divide classes based on grades. (高校は成績順でクラス分けをすべきだ。)**」でした。肯定側も否定側も異なる視点から高校生の成績向上にとってどちらが良いのかについて議論しました。どのチームも用意したことを読み上げるのではなく、相手のスピーチを聞いて、反論や再構築に取り組む姿が見られました。

ディベート後はディベートの内容だけでなく、普段の高校生活や英語の勉強方法などについても話し、交流を深めました。

また、熊本の交流大会は全テーブル教員がジャッジを務め、生徒へ勝敗や個人コメントの説明を行いました。



水俣高校 VS 熊本西高校



熊本高校 VS 水俣高校



第二高校 VS 熊本商業高校



済々黌高校 VS 第二高校



熊本商業高校 VS 宇土高校



天草工業高校 VS 熊本高校



熊本第二高校 VS 東稜高校



熊本西高校 VS 鹿本高校



熊本商業高校 VS 八代高校



熊本西高校 VS 鹿本高校



ディベート後の交流（熊本第一高校 VS 鹿本高校）



ディベート後の交流（熊本第二高校 VS 済々黌高校）



ディベート後の交流（熊本高校 VS 東稜高校）



ディベート後の交流（熊本北高校 VS 鹿本高校）



ディベート後のジャッジコメント（熊本高校 VS 熊本第二高校）

続く第2ラウンドのお題は、「*Space travel by the rich should be criticized. (富裕層の宇宙旅行は批判されるべきだ。)*」でした。宇宙開発の観点、観光の観点、社会貢献の義務と個人の権利についてなど様々な論点でディベートが展開されていきました。

具体例を説明したり、反論の際に比較をしたりなど第1ラウンドでジャッジから受けたフィードバックを活かそうとする様子が見られました。



熊本高校 VS 済々黌高校



POI！（熊本北高校 VS 熊本第二高校）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*University education should become free. (大学教育を無料化すべきである。)*」でした。初めてチームを組む他校の生徒と準備・ディベートを行い、アイコンタクトも意識したスピーチを披露しました。また、このエキシビジョンディベートはPDA認定教育ジャッジのジャッジ実技試験を兼ねており、ディベート終了後、実技試験受験者がジャッジコメントを行いました。



エキシビジョンディベート



ジャッジ実技試験・ジャッジコメント

閉会式では、エキシビジョンディベーター賞、チーム賞、個人賞の表彰を行いました。個人賞を受賞した生徒が最後に「初めての即興型英語ディベートで緊張したけど積極的に取り組めてよかった」「2回目の参加だが、前回よりも成長を実感できてよかった」と感想を述べました。最後にPDA代表理事中川より「大学でもオンライン化が進み、海外の研究者とのやりとりが以前よりも増えています。皆さんも今後、オンラインを活用して世界中の様々な人と繋がっていくと思います。今日の経験をぜひ今後活かしてください。」とコメントが述べられ、交流大会の幕を閉じました。

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・PM _____さん (熊本 A)
- ・LO _____さん (水俣 B)
- ・MG _____さん (熊本西 B)
- ・MO _____さん (済々黌 B)
- ・LOR _____さん (八代)
- ・PMR _____さん (熊本北)



エキシビジョンディベータ

〈チーム賞〉

- 1位 熊本高校 C
- 2位 熊本北高校
- 3位 熊本高校 B
- 4位 熊本西高校 A
- 5位 熊本高校 A
- 6位 宇土高校
- 7位 熊本第二高校 A
- 8位 熊本商業高校 B
- 9位 熊本第一高校
- 10位 八代高校



1位 熊本高校 C



2位 熊本北高校



3位 熊本高校 B



4位 熊本西高校 A



5位 熊本高校 A



6位 宇土高校



7位 熊本第二高校 A



8位 熊本商業高校 B



9位 熊本第一高校



10位 八代高校

〈ベストディベーター賞〉

- _____さん (熊本北)
- _____さん (熊商 A)
- _____さん (熊本 C)
- _____さん (熊本 A)



ベストディベーター賞

〈POI 賞〉

- _____さん (熊本 C)
- _____さん (宇土)



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・難しかったけどチームと協力して出来たのでとても楽しかったです。（水俣高校）
- ・様々な視点からの意見や、レベルの高い人たちのスピーチを聞いて、英語の勉強のモチベーションにもなりました。（水俣高校）
- ・なかなか自分の意見を他の言語で言える機会は無いので大きな経験ができて嬉しかったです。英語学習へのモチベーションが上がり、これからもディベートに関わって行きたいです。素敵な機会ありがとうございました。（熊本商業高校）
- ・初めてだったけど、やっぱり重ねると上手くなるのかなと思います！次もやってみたい！（熊本商業高校）
- ・初めてだったけどきちんと意見を言えたので良かったです。（鹿本高校）
- ・英語の勉強をしていく上で良い勉強になったと思う。（鹿本高校）
- ・これからも続けていきたいと思いました。（熊本高校）
- ・POIを初めてすることができ、チームの仲間と協力しながら試合を進めることができた。（熊本高校）
- ・来年も参加したい。（天草工業高校）
- ・POIができなかったので、次の参加の時は積極的にしたいと思った。次は、ベストディベーター賞目指して頑張りたいです。（天草工業高校）
- ・みんなと協力してできたし、対戦相手の方ともたくさん話せた。（熊本西高校）
- ・楽しかったです。もう少し英語を話せるようにできるようになりたいと思いました。（熊本西高校）
- ・本日は他校との交流と英語ディベートをさせて頂ける機会をいただき嬉しかったです。私にとって英語ディベートは未知数のもので、練習においても同じ高校の人たちとしかしなかったもので、自分よりもレベルの高いディベーターの人たちの主張や英語の発音を聞いていると、まだまだ頑張らなきゃなという意識が生まれました。本日は本当にありがとうございました。（熊本第二高校）
- ・ほかの高校の方々とお話できてよかったです。なかなかこういう機会はないと思うので参加して本当に良かったです。（熊本第二高校）
- ・なれてくると段々議論することが楽しくなってきた。（熊本第二高校）
- ・一回負けてしまったので、反省点を踏まえた上でリベンジする機会がほしいです。（東稜高校）
- ・有意義な時間を過ごせました。（東稜高校）
- ・自分の英語力をみつめなおすいいきっかけになったからです。また、チームメイトと協力して勝利をつかむことが出来て楽しかった。（宇土高校）
- ・ディベートを通して英語でのコミュニケーション能力を鍛えることができて良かったです。また他校の人と交流することができてたのしかったです。（宇土高校）
- ・とてもいい機会であったような気がします。していて、自分の意見を出すのはとても難しかったですが、その分新しい意見を聞いてそれに反論するのが楽しかったような気がします。（済々黌高校）
- ・全く練習せずにこの交流大会に参加したので、あまり思うように話すことができませんでした。だ

- けど、同じチームのメンバーと一生懸命協力しながら参加できて良かったです。(済々黌高校)
- ・同じ高校生とディベートが出来て楽しかったですし、とても刺激になりました。(熊本北高校)
 - ・合理的に考える力が高まったと思う。(熊本北高校)
 - ・同じチームの人達と役割を分担して進めていくことが楽しかった。(熊本北高校)
 - ・試合後のジャッジの先生方のアドバイスや エキシビションディベートがすごく 参考になりました。いい経験になりました。(熊本第一高校)
 - ・いい経験ができたいろいろなことを学んだりして参加してよかったと思いました。(熊本第一高校)
 - ・ディベートだけではなく、対戦後の交流でいろいろなことについて話すことが出来ました。最近ディベートをする機会がなかったのでこのような機会をいただくことができ感謝しています。POI 賞にも選んでいただきとてもうれしかったです！ほんとうにありがとうございました。(八代高校)
 - ・本当に出て良かったです。自分と同じ高校生の皆さんがこんなにわかりやすい主張をしていて もっと頑張らないとなと思いました。(八代高校)
 - ・他校の生徒たちの頑張っている姿に触れることができ、大変刺激になりました。(教員)
 - ・色々な学校の様子や生徒たちの英語力を間近で見ることができました。(教員)
 - ・用意された文章を読み上げたりするのではなくコミュニケーションの場面に近い設定での英語力の力を図る大会と思う。(教員)
 - ・コロナ禍で行事ができていない中、生徒たちがいきいきと他校の生徒と交流している姿が教員として嬉しかったです。(教員)
 - ・高校生が英語でテーマについて即興で論理的に展開しながら議論する姿にとっても刺激を受けました。回数を重ねるごとに上手くなっており、アドバイスなども聞きながら聞いてくれる姿を見て、吸収力の高さやモチベーションを実感することができました。前回、自分自身もディベートを体験してみて初めはとても難しいと感じましたが、回数が増えるとだんだん面白く感じることを思い出しました。今日参加している生徒さんの多くは日頃からディベートなど英語を使ったコミュニケーションをする機会が多いのではないかと思います。私の勤める学校でも取り入れていきたいと感じました。ありがとうございました。(教員)
 - ・様々な高校の生徒が頑張っている姿を見られて嬉しかったです。本校の生徒も参加し、刺激を受けることができました。(教員)
 - ・ディベートだけでなく、採点中も生徒同士でコミュニケーションが活発にできていて、非常に刺激になったと思います。(教員)
 - ・生徒の皆さんの熱意や興奮がとても伝わってきました。こういう英語を話したり使ったりする機会を求めている生徒もいるのだと思いました。(教員)



PDA 桜蔭中学校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年3月12日（土）13:30-15:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒24名

ジャッジ：PDAスタッフ

はじめに、PDAスタッフよりルールの確認が行われました。ディベートの流れ、POI（Point of Information）の行い方、スピーチシート・ブレストシートの使い方についておさらいしました。POIの練習では、片手を頭に乗せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズを行うことができました。



POIの練習

実践（1）の様子

実践（1）の論題は「*Junior high school students should have part-time jobs.* 中学生はアルバイトをすべきである。」でした。将来を見据えて社会経験を積むべきだと主張する肯定側に対し、将来のためには社会経験よりも勉強の方が重要でありその勉強が疎かになってしまう、アルバイトは中学生にとっては危険性であるためしない方がいいと主張する否定側。どちらの方が将来にとって大事であるのかを比較しながら自分たちの主張を強めていきました。POIを積極的に行う姿も見受けられました。



スピーチ中の様子



POI の様子

試合後の握手

実践（２）の様子

実践（２）の論題は「*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* 大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。」でした。受験生はモチベーションを維持することが難しいが、お互いをよく理解している相手と一緒にいることは勉強に対してのモチベーションとなると主張する肯定側に対し、むしろ勉強に集中できず疎かになるのではないかと、恋人がいない人やLGBTの人たちへの心理的な負担となるのではないかと、否定側も説得的な主張で返しました。実践（１）でジャッジから受けたフィードバックをすぐに反映させ、分析を深めたり具体例を説明したりする様子も見られました。



POI での質疑応答の様子

スピーチの様子



ジャッジによるフィードバック

最後に、実践（２）でベストディベータに選ばれた生徒が、「これまでとは異なる新鮮な論題に戸惑ったが、様々な視点が得られ楽しかった。」「短時間でスピーチを作成するのは大変だったが楽しかった。」と、本日の感想を述べました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

・難しかったし、緊張もしたけれど、英語で、自分の言葉ではなせたのが嬉しかったです。英語でスラスラ話している人もいて、すごいと思いました。機会があったらまた英語ディベートをやりたいです。

・相手の主張を予想してまず、反論を考え、本番では相手の主張を聞いて対応しなければならないというのが非常に難しかったです。また、自分の持っている限りの語彙力を駆使して、スピーチをするというのは、英語力の向上にとってもつながると改めて思いました。

・一回一回の試合はとても緊張感のあるものでしたが、本当にいい経験になりました。また機会があればやってみたいです！対戦相手でもすごいなと思う人がたくさんいましたが、やればやるほど出来るようになるときき、とても興味が湧きました。

・普段英語ディベートはやっているものの経験者の方からその場でコメントをもらうことがあまりないので、すごく参考になりました。

・思っていたよりも準備時間が短く、割と切羽詰った状態での発表でしたが、何とか乗り切れたので良かったです。同級生の前で話したり、英語を聞いたり、普段出来ない事で楽しめました。

・英語ディベートはずっと興味があったけど難しくてなかなか実際にやってみる機会がなかったため、今回やってみて思ったよりやればなんとかなる感じがあって、これをきっかけにこれからも続けていきたいなと思いました。



PDA 開成中学校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年3月13日（日）9:30-11:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒4名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに、PDA スタッフよりルールの確認や準備時間の進め方のレクチャーが行われました。POI（Point of Information）の練習では、片手を頭に乘せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズを行うことができました。



POIの練習

実践（1）の様子

実践（1）の論題は「*Junior high school students should have part-time jobs.* 中学生はアルバイトをすべきである。」でした。将来に役立つ社会経験を得るためにアルバイトが必要だと主張する肯定側に対し、否定側は勉強よりもアルバイト中心となり、将来のキャリアにとって良くないと主張しました。準備時間に考えたポイントをしっかりと説明するだけでなく、相手の話を聞いて、即興で反論や再構築を考えることができました。



堂々とスピーチする様子



ディベート後のエアークラッシュ

実践（２）の様子

休憩時間を挟み、実践（２）の始まりです。実践（２）の論題は「*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* 大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。」でした。実践（１）でジャッジから受けたコメントを活かし、相手の反論を予想して、その反論に対抗する分析を前もって説明する様子なども見られました。



実践（１）で受けたコメントを活かしながらスピーチをする様子

最後に、実践（２）でベストディベーターに選ばれた生徒が、「即興型の英語ディベートをするのは初めてで難しかった。より説得的なスピーチができるように頑張りたい。」と今日の感想を述べました。

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 普段、経験できないことない英語のスピーキングの体験ができた。普段、英語を使って喋る機会がないのでとても楽しかった。
- ・ 初めて即興型英語ディベートを实践できた。
- ・ 今までにすることがないような、論理の組み立て方や相手の論理への対抗などが面白かった。
- ・ 楽しかった。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

_____ さん

_____ さん

PDA 全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ 2022

一般社団法人パラメンタリーディベーター財育成協会(PDA)

開催日時:2022年3月20日(土)10:00-16:00

会場:オンライン

参加者:教員11名(岩手県立大東高等学校、秋田県立角館高等学校、山形県立東桜学館中学校・高等学校、明治大学付属明治中学校、東京都立大泉高校、東京都立武蔵高等学校附属中学校、東京都立富士高等学校附属中学校、品川女子学院、山梨県立甲府西高等学校、愛媛県立松山東高等学校、沖縄県立前原高等学校)



2022年度から始まる英語科新科目「論理・表現」では、活動の一つとしてディベートが新学習指導要領に明記されています。本研修では、授業でできる即興型英語ディベートを実践的に学び、指導力をつけていきます。

全国の中学校・高校の先生が一堂に会し、ディベートワークショップが始まりました。5回のディベートを通し、全教員がディベーターとジャッジの両方を体験します。各実践の前にスピーチシートの使い方や、立論の構成、反論などについてレクチャーを受け、ディベート実践を通してその方法について学びました。ジャッジチームはディベート後、勝敗の説明や個人コメントなどを行い、勝敗の決め方や教育的配慮のあるコメントの手法について学びました。中高生に教育的配慮を持った即興型英語ディベートの指導ができる人財を認定していくPDA認定教育ジャッジ制度での資格の取得を目指した先生も多く参加されました。1日で全5ラウンドのディベート実践を体験されました。「宿題を廃止すべきである。」といった学校でも導入しやすい論題から、「ロシアへの経済制裁は、世界にとって害よりも利益をもたらす。」といった国際関係の時事問題まで取り扱いました。

第5ラウンド目には、PDA認定教育ジャッジ試験のディベート実技試験も行われました。



POIの様子



実践の様子

参加者の声

- ジャッジコメントが大変勉強になりました。自分は判定することが生徒たちのために苦手ですが頑張ろうと思います。
- まずは初めてディベートを経験できた！そして生徒が経験していた緊張感も理解できた！
- 自分がやってみて、生徒の気持ちや、プレゼンの足りない部分がわかった。
- 大変勉強になりました。zoom よりも対面が個人的には聞きやすい気がしまして、対面の機会が今後あればと思いました。
- 実際に試合を経験することがたくさんでき、多くの学びがあったため。
- ジャッジの先生方に励まされました。ありがとうございます。このような取組が広がっていくことを願っております。
- ジャッジの仕方が大変参考になった。
- 認定ジャッジもゆくゆくは挑戦したいです。
- 正直にいうと、全敗して悔しかったです（笑）自分の説明不足を痛感しました。即興で説明をしっかりするトレーニングを積んでいきたいと思っています。また、フィードバックや実践の機会は少ないので、このような機会を年に何回か作っていただけると大変助かります。それと今日は自分も含め、立論があまり上手くできていないケースがあったので、立論の練習を最初にできるといいと思いました。今日は貴重な機会をどうもありがとうございました。
- 初めての参加でうまくできない点もあり、まだ勉強が必要だと感じました。他校の様子が変わり、まず教員が勉強ですね。
- 正直疲れました（笑）。ただ、内容はとても充実していて、多くのことを学べたので、さまざまな研修をこれまでも受けましたが、最も自分にとって役に立った研修になりました。今後どうこの経験を役立てていくか考えたいと思います。ありがとうございました。

以上

第5回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会
The 5th PDA Junior High School Parliamentary Debate National Competition

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2022年3月21日(月・祝)

会場：Zoom(オンライン)、本部：大阪府立大学

主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：大阪府立大学

後援：朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協賛：TOEFL Primary・Junior 株式会社 ダンケゼア

【開催趣旨】

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

【参加校】

(茨城県) 茨城県立太田第一高等学校附属中学校

(茨城県) 東洋大学附属牛久中学校(欠場)

(栃木県) 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校

(埼玉県) さいたま市立浦和中学校

(埼玉県) 開智中学校

(千葉県) 渋谷教育学園幕張中学校

(千葉県) 翔凜中学校

(東京都) 東京都立三鷹中等教育学校

(東京都) 東京都立武蔵高等学校附属中学校

(東京都) 東京都立富士高等学校附属中学校

(東京都) 東京都立両国高等学校附属中学校

(東京都) 東京都立小石川中等教育学校

(東京都) 筑波大学附属駒場中学校
(東京都) 獨協中学校
(東京都) 品川女子学院中等部
(東京都) 富士見中学校
(東京都) 武蔵高等学校中学校
(東京都) 渋谷教育学園渋谷中学校
(東京都) 開成中学校
(神奈川県) 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校
(神奈川県) 聖光学院中学校
(神奈川県) 湘南白百合学園中学校
(神奈川県) 栄光学園中学校
(神奈川県) 浅野中学校
(神奈川県) 洗足学園中学校
(愛知) 南山中学校女子部
(兵庫) 神戸大学附属中等教育学校
(広島) 広島学院中学校
(徳島) 徳島県立城ノ内中等教育学校
(熊本) 熊本県立八代中学校
(宮崎) 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校
(沖縄) 沖縄県立開邦中学校

32校

【タイムスケジュール】

10:00 受付
10:20 開会式
10:40 ラウンド1
11:40 昼食交流会(11:50~12:20)
12:30 ラウンド2
13:40 ラウンド3
14:50 決勝進出チーム発表、決勝準備
14:55 キーノートレクチャー
15:10 決勝
15:40 表彰式、アンケート
16:00 終了

【ご挨拶】

第5回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会へのご参加ありがとうございます。毎年参加校数が増えており、中学生が英語を使って即興で議論する取り組みへの関心が高まっていると感じます。高等学校の新学習指導要領では、2022年度から英語科の新科目「論理・表現」が掲げられ、活動としてディベートが明記されています。本大会で扱うディベートは、授業の50分で完結する形式であり、中学生にとって近い将来役立つ内容です。英語で発信する力のほか、さまざまな論題について多様な視点から考える力を鍛える一助となることを願っています。キーノートレクチャーもお楽しみください。

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事
中川智皓（大阪府立大学工学研究科・准教授）
JST 戦略的創造研究推進事業 さきがけ研究員（兼任）

【論題】

- R1 We should prohibit cosmetic surgery.
(美容整形を禁止すべきである。)
- R2 Students should study abroad during high school years.
(高校在学中に留学をすべきである。)
- R3 Space development spending should be increased.
(宇宙開発の費用を増やすべきである。)
- 決勝 Economic Sanctions against Russia does more good than harm to the world.
(ロシアへの経済制裁は、世界にとって害よりも利益をもたらす。)

【開会式】

今年は、昨年よりも参加校が大幅に増え、日本最大の中学生即興型英語ディベートの全国大会となりました。開会式では、代表理事の中川より開会の挨拶として本大会の趣旨が話されました。2022年度より高等学校の新学習指導要領では英語科の新科目「論理・表現」が掲げられ、ディベートが推進されています。また本大会で扱うディベートは実際の授業時間内（50分）で完結する形式であり、中学生にとって役立つものです。PDAでのディベート推進活動では各地域での体験会、交流大会、教員研修、認定教育ジャッジ制度の確立などに取り組んでいます。つづいて、本大会参加の32校が紹介されました。POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）を全員で練習しました。メインルームには参加者の大きな「POI!」のかけ声がひびきわたりました。生徒たちに笑顔も見られ、POIを模擬することで、少し緊張がほぐれた様子でした。その後、PDA本部スタッフよりジャッジへ向けてスコア送信についての注意事項、説明がありました。



【ラウンド1】

開会式が終わり、1ラウンド目のはじまりです。論題発表のアナウンスがあると、生徒たちの緊張が画面越しに伝わります。対戦表と論題の発表後、各チームがチームメイトと準備を開始しました。論題は、We should prohibit cosmetic surgery. (美容整形を禁止すべきである。)です。1戦目から白熱したディベートとなりました。テーブルごとに、美容整形のリスクや化粧だけでは十分でないのか等、様々な論点が出され、議論が行われました。ディベートが終わるとジャッジから各生徒にフィードバックが行われました。ジャッジからは両チームともに非常に素晴らしい内容だったため、勝敗を決めるのがとても難しいです、といった感想も述べられていました。



POI! (三鷹 VS 神大附属)



エアー握手 (南山 VS 横浜サイエンス)



浅野 VS 両国



開成 VS 宮崎西

ディベート後の交流（市立浦和 VS 八代）

【昼食交流会】

Zoomのブレイクアウトルームに分かれて雑談を楽しみながら、各校と交流を図りました。ラウンド1ではどのようなポイントを出したか、普段はどのように英語ディベートを練習しているかなどを共有していました。交流会の時間まで英語で交流を図っているチームもありました。中学1年生の生徒も参戦していることに驚いていたり、練習の様子を聞いてお互いに刺激を受けあったりするなど、充実した時間となりました。



宇都宮東中学校と八代中学校の昼食交流会の様子

【ラウンド2】

2 ラウンド目の論題は、Students should study abroad during high school years. (高校在学中に留学をすべきである。) です。留学のコストやリスク、得られる経験などが論点として挙げられていました。ジャッジからは勝敗の説明や全体へのコメントだけでなく、個人に対して充実したフィードバックをしていただきました。生徒たちは、比較の重要性など改善に向けたコメントを、熱意をもって聞いており、次の試合に向けたモチベーションにしています。



POI! (小石川 VS 八代)



ディベート後の交流 (城ノ内 VS 翔凜)

【ラウンド3】

3 ラウンド目の論題は、Space development spending should be increased. (宇宙開発の費用を増やすべきである。) です。Government (肯定チーム) からは地球外への退避という立場で、いっぽう、Opposition (否定チーム) は、宇宙開発よりも重要なことがあることを挙げるなど議論がみられました。3 ラウンド目では、1,2 ラウンドで言われたアドバイスを早くも反映しており、これまでのラウンドの中でも特に素晴らしいディベートをしていました。



神大附属 VS 富士



POI！（市立浦和 VS 三鷹）



横浜サイエンス VS 開邦

【キーノートレクチャー】

本大会でのキーノートレクチャーは、株式会社レヴィの代表取締役、南部陽介氏をスピーカーにお迎えし、ラウンド3の論題にあった、人工衛星の開発を始めとした宇宙開発についてお話ししていただきました。まず、「ひろがりプロジェクト」という大学生による人工衛星開発の事例についてお話いただきました。開発過程では、審査の遅延や契約解除危機など多くの困難が立ちはだかったにも関わらず、成功した事例から、あきらめないことが大切だというメッセージをいただきました。

また、宇宙開発の重要性についてもお話しいただきました。人工衛星により、我々の生活が成り立っていることなどを理由に挙げられていました。

生徒からも、発展途上国と先進国の宇宙開発への取り組みの差や、ひろがりプロジェクトの今後の展望についてなど活発に質問が出ました。



【決勝ラウンド】

いよいよ決勝進出チームの発表です。予選3ラウンドの結果、さいたま市立浦和中学校、渋谷教育学園渋谷中学校が選出されました。決勝戦の論題は、Economic Sanctions against Russia does more good than harm to the world.（ロシアへの経済制裁は外よりも利益をもたらす。）です。両チームの各生徒は、多くの生徒や教員たちがZoom上で見守る中、堂々として落ち着いた口調で、内容の論理性や英語力、POIの積極性など、どれをとっても中学生とは思えない非常に素晴らしいスピーチを披露してくれました。決勝戦にふさわしい、白熱したラウンドとなりました。

決勝進出チーム発表 14:50~14:55

Table	Government	Opposition	Judge
メイン	市立 浦和	渋 渋	★泉 [C] ★平井 ★藤田 ★河野 ★和泉 ★鈴木 ★福田 ★山根 ★高菜 ★石塚 オーディエ ンス

★PDA認定教育ジャッジ

決勝戦の対戦表



決勝戦の様子



決勝ラウンドが終わり満面の笑顔でエアークラップ

【表彰式・閉会式】

表彰式では、ベストディベーター賞、ベスト POI 賞が発表されました。つづいて、決勝ラウンドでの勝敗が発表されました。選ばれた生徒たちは満面の笑みを浮かべて喜んでいました。賞に関わらず、活躍されたすべての生徒に賛辞を送りたいと思います。

最後に、中川代表理事より以下の閉会の挨拶をもって、第5回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会は幕を閉じました。「率直な感想として、どの生徒も中学生とは思えないくらいのレベルで正直驚いています。また、決勝ではロシアへの経済制裁という話題を扱い

ました。1月に行われたPDAの高校生世界交流大会でウクライナのチームの参加がありましたが、わずか2ヶ月で世界は大きく変わってしまったことを顧みると、今日ここで皆さんとお会いできたことはとても貴重なことだと思います。」というお話があり、大会が締めくくられました。



ベストディベーター賞の表彰



POI賞の表彰



優勝 市立浦和



準優勝 渋谷

第5回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会結果

<チーム賞>

優勝 さいたま市立浦和中学校(埼玉県)

準優勝 渋谷教育学園渋谷中学校(東京都)

3位 聖光学院中学校(神奈川県)

4位 洗足学園中学校(神奈川県)

5位 東京都立武蔵高等学校附属中学校(東京都)

<個人賞>

ベストディベーター賞 (個人名略)

ベスト POI 賞 (個人名略)

【アンケート（抜粋）】

1. 生徒からの感想

- 今まで自分の学校の中でしかディベートを行ってこなかったため、全国の英語力・ディベート力の差にとっても驚き、これからの自分たちの英語学習のためのいい経験となった。（八代）
- 論題が面白く、考えさせられる内容でとても勉強になりました。（浅野）
- 普段はあまり関わることがない学校の生徒とも話せて、とても楽しかった。また機会があれば是非参加したい。（都立武蔵）
- ラウンド後の交流時間等、他の大会よりも相手とコミュニケーションをとる時間が多くて、とても楽しかったです。（私立武蔵）
- 他校との交流ができて楽しかった。また、ディベートは初めてだったので、貴重な体験ができた。（沖縄・開邦）
- ディベートはもちろん、他校の生徒とお話できて楽しめました。（開成）
- ジャッジの方から1人ずつ明確な指摘やアドバイスを頂けたので、とても良い経験になりました。また、他校の方との交流の場が多かったので、とても楽しかったです。（湘南白百合）
- 初めての大会で緊張していました。でも相手に伝わる楽しさなどが分かりとても良い経験になりました！！（富士見）
- どの試合も一生懸命頑張り、チームメイトと協力していい試合ができてよかったです。3勝できなかったのは悔しいですが、今後活かせるような大会になり、とても満足しています。ありがとうございます！（宇都宮東）
- レベル高い大会で、運営もスムーズでした。（浅野）
- 仲間との絆が深まり、3年間この大会のために頑張っていたので、発揮できてよかったです。ジャッジから有益なアドバイスをいただけてよかったです。（神戸大附属）

2. 教員・見学者からの感想

- 大会運営本当にお世話になりました。運営から企画まで完璧で格式の高い素晴らしい大会でした。3月というのも中学生からすると、モチベーションを保つ最高の動機づけになりますに、それに見合った大会だったと思います。
- テーマが、社会的かつ時事的なものまであり、レベルが高いと感じました。
- 生徒達の力を試せるいい機会になりました。今後の学習の励みになったようです。ありがとうございます。
- 他校の中学生のレベルの高さを知ることができ、生徒ともども大きな刺激を受けました。今後も研鑽を続けていきます。

3. キーノートレクチャーについての感想

- 「ひろがり」がどのような苦労を経て宇宙に広がっていったのかを聞いてとてもためになりました。滅多にない機会なのでお話を聞くことができ良かったです。(茨城・太田第一)
- 小型人工衛星を打ち上げるという一見無謀にも思えるプロジェクトを成し遂げるまでの流れを知ることができた。興味深い内容であり、面白かった。(広島学院)
- 自分たちのスピーチでは例がもう少しあるといい、とジャッジの方にご指摘いただいたので、より深くモーションの内容を知ることができておもしろかったです。(南山)
- とても興味深く、面白かったです。質問にも答えていただきとてもよかったです。(栄光学園)
- 自分の視野が広がって、ほかのことにも興味を持ちたいと思った。(宮崎西)
- めちゃくちゃ面白かったです。ためになりました。(小石川)
- とても興味深い話で面白かった。宇宙に対する取り組みや感情すごく感動した。3roundの論題とも関連していてよかった。(徳島・城ノ内)
- お題で出ていた話でより深く知れて、ディベートもあって理解しやすく面白かった。(獨協)
- ディベートの大会でこのような機会があるのは素晴らしいと思います。内容も興味深いものでした。(教員)
- 生活の中ではなかなか知ることの出来ない現在行われている宇宙開発の内容のレクチャーだったため興味深かったです。生徒が熱心に質問している様子が印象的でした。(教員)
- その分野に携わっている方の知見やご意見をお聞きできるのは本当に勉強になります。(教員)

以上



令和3年度 PDA 京都高校生即興型英語 オンラインディベート交流大会兼第2回パラメンタリーディベート講習会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

京都公立高等学校長会 国際・外国語系部会

開催日時：2022年3月24日（木）13:40-17:00

会場：オンライン（Zoom）

参加校：4校、6チーム（京都府立嵯峨野高校、京都府立鳥羽高校、京都市立日吉ヶ丘高校、京都市立西京高校）

参加者：生徒19名、教員8名

スタッフ：PDAスタッフ、東京外国語大学

開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事中川智皓より、「緊張している人もいるかもしれませんが、交流を楽しみながら頑張ってください。」とエールが送られました。そして、PDAスタッフより、参加校の紹介やジャッジの紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習などが行われました。



POI の練習

第1ラウンドのお題は「*High school should divide classes based on grades. (高校は成績順でクラス分けをすべきだ。)*」でした。モチベーションはどちらが上がるのか、現状のクラス分けは生徒の学習にとって良いのか、むしろ効率が悪いのかなどについて英語で議論しました。

POIを通した質疑応答も活発に交わされ、議論を深める様子も見られました。ディベートが終わると、文系か理系か、将来何になりたいか、数学はどこまで勉強しているかなどについて話し、交流を深めました。



嵯峨野高校 VS 西京高校



POI！（鳥羽高校 VS 日吉ヶ丘高校）



ディベート後のエアー握手

続く第2ラウンドのお題は、「*Space travel by the rich should be criticized.* (富裕層の宇宙旅行は批判されるべきだ。)」でした。富裕層は社会貢献をする義務があるのかないのか、お金の使い方は自由だから批判されるべきではないのか、宇宙旅行は宇宙産業の発展につながるのか、宇宙ごみは増えてしまわないのかなどについて議論しました。

POIをしたり、第1ラウンドでジャッジから受けたフィードバックを活かそうとしたりする様子が見られました。



混合チーム VS 日吉ヶ丘高校



西京高校 VS 日吉ヶ丘高校

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「**University education should become free.** (大学教育を無料化すべきである。)」でした。肯定側は費用が高く、具体例を提示したり、描写したりしながら行きたい大学に通えない問題について説明し、否定側は授業料などが何に使われているのかを複数の例を挙げることで説明しました。勝敗はエキシビジョンディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、**Opposition** (否定側)の勝利となりました。



エキシビジョンディベートでも POI !

閉会式では、エキシビジョンディベーター賞、チーム賞、個人賞の表彰を行いました。

表彰式が終わると、鳥羽高校の川口校長先生よりご講評をいただきました。「ディベートは、お互いの論理を戦わせる側面だけでなく、人間と人間のつながりを感じる側面があると思います。今日は、その両方をたくさん見ることができました。今回ジャッジの先生からもらったアドバイスは今後も活用できる、汎用性の高いものばかりだったと思います。ぜひ今後活かしてください。」と労いの言葉をいただきました。

そして、最後にベスト POI に 2 度選ばれた生徒が、「ディベートだけでなく、交流も楽しめた。川口校長先生のおっしゃっていた、人同士の繋がりをとても感じた。」と感想を述べ、交流大会の幕を閉じました。



鳥羽高校 川口校長先生によるご講評



ベスト POI に選ばれた生徒による感想

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・PM _____さん (日吉ヶ丘高校)
- ・LO _____さん (鳥羽高校)
- ・MG _____さん (嵯峨野高校)
- ・MO _____さん (西京高校)
- ・LOR _____さん (西京高校)
- ・PMR _____さん (日吉ヶ丘高校)



エキシビジョンディベータ賞

〈チーム賞〉

- 1位 鳥羽高校
- 2位 嵯峨野高校
- 3位 西京高校



1位 鳥羽高校



2位 嵯峨野高校



3位 西京高校

〈ベストディベーター賞〉

- _____さん (鳥羽高校)
- _____さん (鳥羽高校)
- _____さん (日吉ヶ丘高校 A)
- _____さん (日吉ヶ丘高校 A)
- _____さん (日吉ヶ丘高校 B)
- _____さん (西京高校)
- _____さん (西京高校)
- _____さん (混合チーム)
- _____さん (混合チーム)



ベストディベーター賞

〈POI 賞〉

- _____さん (嵯峨野高校)
- _____さん (鳥羽高校)
- _____さん (日吉ヶ丘高校 A)
- _____さん (西京高校)
- _____さん (混合チーム)



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・なかなかない経験を出来て良かったです。（日吉ヶ丘高校）
- ・英語もっとペラペラになって極めたい！と思えた。（西京高校）
- ・鳥羽高校の皆さんが強かったです…来年こそは…！（嵯峨野高校）
- ・ディベートが上手い方々とディベートできてたくさん学べました。（日吉ヶ丘高校）
- ・周りのレベルが高くて、あんな感じで自分は言えなくて、もっと英単語を知って、ペラペラしゃべれるようになればいいなと思いました。（日吉ヶ丘高校）
- ・大会が少なかったのが貴重な時間だったなと思います。お題が2つとも難しく、でもPDAの方がすごく細かいアドバイスを下さったのでこれからも頑張りたいなと思いました。（日吉ヶ丘高校）
- ・他の人と一緒に意見を出し合う過程が楽しかった。（西京高校）
- ・本当に楽しく、そして自分の実力を再確認できて、これからも頑張りたいと思います。（嵯峨野高校）
- ・初めて参加させていただいたのですが、とても良い経験になりました。（嵯峨野高校）
- ・他校の方と同じチームでディベートできたのが新鮮だった！（日吉ヶ丘高校）
- ・とてもよい勉強になりました。今後、指導に活かしたいと思います。ありがとうございました。
（教員）

発行

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

2022年4月

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1
大阪府立大学 工学研究科 中川研究室内
Tel : 072-254-9220 Fax : 072-254-9904
E-mail : contact@pdpda.org